

京都支店

丹後産農産物・加工食品をPR
商談会の会場は「畑」

丹後産食品のブランド価値向上と販路拡大を担う地域商社である株式会社丹後王国ブルワリーが、京都府、京丹後市、同市農業経営者会議などと連携し、『食の京都』TANGOFoodCOLLABOFes2022』を開催。生産者・食品加工業者21先とバイヤー14先が参加し、公庫も後援者として企画から参画しました。

農業者との商談会は会場を農場に移し、生産者とバイヤー双方にとって有意義な会となりました。同会は今後も定期的に開催予定で、公庫も引き続き後援します。

7月12日・13日



桃畑での商談の様子

奈良支店

果樹生産振興に係る
意見交換会を開催

市町村単位では全国一の柿の生産量を誇る五條市において、地元の五條吉野土地改良区との共催で、生産者や関係機関を交えた意見交換会を開催しました。

出席者から「樹園地の造成や施設整備が進み、後継者が順調に育っている」といった前向きな報告があったほか、話題は産地の課題から柿の輸出や加工・販売にまで及びました。「最優先課題は共同選果場の人員不足」という事実を共有し、産地の維持・発展に向けて各機関で知恵を絞ることを確認しました。

8月10日、参加者：15人



生産者代表、奈良県、県農協、五條市、下市町、市町農業委員会などが集まり、実りある議論ができました

情報企画部

欧州の日本食に関する
勉強会を開催

日本公庫本店にて、欧州の日本食に関する勉強会を日本農業法人協会と共催しました。

オランダから一時帰国中の日本食レストラン海外普及推進機構（JRO）理事の大島晃氏が、欧州での日本産食材の流通事情や日本食レストランの状況について説明。ホテルオークラアムステルダムにて総料理長を長年務めた経験から、「欧州ではサービスの比重が高く、味とともにお客さまとの会話や説明が大事。日本食の普及拡大には日本酒のソムリエなども有効」と力説しました。

8月24日、参加者：8人



大島氏の講演に耳を傾ける参加者

盛岡支店

岩手の魅力ある食品を海外へ
輸出商談会を開催

岩手県の農林水産物・食品の海外輸出支援を目的に、東京都内で輸出商談会を開催しました。

輸出に意欲的な県内の生産者8社が参加し、台湾で高級スーパーを展開する株式会社裕源など、東南アジアや欧州に販路を持つバイヤー6社に、短角牛や盛岡冷麺など自慢の製商品の食味や生産のこだわりをアピールしました。

参加者からは、「具体的な取引につながる商談ができた」「国外に販路を拡げ、観光客増加や地域活性化につなげたい」などの声が寄せられました。

9月1日、参加者：23人



海外への販路開拓に向けて、岩手県の食材をアピールする生産者

図 日本公庫がご提供するオンラインサービス

サービス名		内 容
農林水産事業 経営お役立ち情報		最新技術情報ほか経営に役立つ情報を まとめて提供します
セミナー情報		各種セミナーの開催日程などの情報入手や 参加申し込みができます
融資に関するお問い合わせ		融資制度やご融資についての ご相談やお問い合わせができます
12 ／ 19 から	お取引状況照会（※）	融資契約日や残高、金利など、 お取引状況の確認ができます
	証明書オンライン発行 （※）	残高証明書・償還予定表を出力できます
	資料のご提出 ／お受取サービス	公庫にご提出いただく資料や、 公庫が提供する資料の授受ができます

※農林水産事業と直接お取引のあるお客さまが対象です。

会員登録はこちらから

日本公庫
ダイレクト



新しいサービスは左の図の通り
です。お取引状況のご確認や各種
引先さま専用サー
ビス」のお申し込みが必
要となります。12月19
日以降に「日本公庫ダ
イレクト」からお申し
込みください。

日本公庫の会員専用インターネ
ットサービス「日本公庫ダイレク
ト」では、皆さまの経営に役立つ
情報の提供や融資に関するお問い
合わせに対応してまいりましたが、
2022年12月19日からさらにサ
ービスを拡充し、便利にご利用い
ただけるようになります。

証明書の発行、資料のご提出やお
受け取りなどが、ご来店やご郵送
の手間なく、オンラインでご利用
いただけます。
ぜひ「日本公庫ダイレクト」への会
員登録をご検討ください (https://
direct.jfc.go.jp/w000_TopB)。

なお「お取引状況照会」と「証明
書オンライン発行」をご希望のお
客さまは、会員登録に加え、「お取
引先さま専用サ

新業務
企画室

「日本公庫ダイレクト」が新たなサービスを開始

情報
企画部

「AFCフォーラム」の電子ブック版がスタート

「AFCフォーラム」は、冊子での
発行のほか、公庫ホームページにも
バックナンバーのPDFを公開し
ています (https://www.jfc.go.jp/

n/findings/publish.html#afc)。

2021年度まではPDFのみ
を公開していましたが、22年度春
1号からは「電子ブック版」もスタ
ートしました。パソコ
ンやタブレット、スマ
ホの画面でも、手で紙
をめくる感覚で、AFC
フォーラムをお楽
しみいただけます。ぜ
ひご利用ください。

左のコードからご
覧になりたい号を選
択し、「電子ブック版
をダウンロードして
読む」をクリックして
ご覧ください。

なお、電子ブック版
の公開はPDF版よ
り数日遅れる場合が
ございます。

アクセスはこちらから



ご利用イメージ

ご意見・ご感想をお寄せください

『AFCフォーラム』は農林漁業者、食品事業者の皆さまに役立つ誌面づくりをめざしています。参考になった記事、取り上げてほしい企画、お気付きの点など、メール、FAX、電話、郵送で編集部までお寄せください。掲載させていただいた方には薄謝を進呈します。

メール anjoho@jfc.go.jp

※こちらのコードも
お使いください →



FAX 03-3270-2350

電話 03-3270-2268

郵送 〒100-0004

東京都千代田区大手町1-9-4

日本公庫農林水産事業本部情報企画部

AFCフォーラム編集部あて

◆私は県の試験場で飼料イネを担当しており、今年で2年目を迎えます。かつての勤務先では、農家の技術や経営指導などを担当していましたが、試験場に異動になり、飼料イネ栽培は全くの初心者からスタート。上司や周囲の方々が一から教えていただきました。

1年目は悪戦苦闘の連続。でも、自分が飼料イネ栽培に取り組んで、初めて知ったことがたくさんありました。

イネ栽培初心者ということでも、まず箱育苗苗から取り組みました。イネの種子を浸種・播種して、イネ一粒一粒が立派な苗に育っていく。そして、浸種から20日前後で田植えをしますが、水田に植えられた苗を見て、まるで自分の子どもが独り立ちし、社会に巣立つのを見送る親

のような気分になりました。

水田にはさまざまな生き物がいることも知りました。時にはそんな生き物たちが田んぼの異変を知らせることもあります。栽培中は田んぼに朝夕足を運び、目を向け、耳を傾ける毎日です。

季節の移ろいを感じながら日々が過ぎていき、秋には収穫を迎えます。食用米品種のように、食味がでないのが残念ですが、収穫した飼料イネがサイレージになって牛の口に入ると、飼料イネ栽培の醍醐味を感じます。

飼料価格高騰の折で、自給飼料に注目が集まっている昨今ですが、自分がイネの栽培試験をおこなった結果が農家のためになることを願って、毎日試験場で働いています。

(福岡県岡垣町 岸本 純子)

編集後記

◆農業の構造改革の進捗は、つまるところ「水田農業」を本丸とした人・農地プランの取り組み進捗がうまくいっているかどうかとも言える。関係法の改正による人・農地プランの法制化は「待ったなし」と言ってきた過去と現状への危機感とも受け取れよう。目前に迫った将来を見据えた「地域の覚悟と決断」が求められる。

(今村)

◆取材でお伺いした株式会社西部開発農産は、私が入庫直後に農業研修でお世話になったところ。大根の収穫などを体験し、半分腰砕けになりながら一本の大根を土から抜いて担いだことを思い出しました。そのときの農作業の大変さ、かじった農産物のおいしさが、農林水産業の皆さまのお役に立ちたいという情熱を支える不変の原動力です。

(高雄)

◆中山間地域で田んぼを維持していくのは、平地とは異なる大変さがあると感じています。「変革は人にある」の杉浦社長は、預かった田んぼの「草刈り」の徹底が信頼構築につながると説かれており、それが農地の集積を可能にしたとのこと。先祖代々の田んぼを丁寧に扱うことが、今も水田農業のキーポイントになっていると感じました。

(大谷)

◆鍋八農産の取材に伺いました。撮影で田んぼに向かうと、稲穂がたくさんできていました。米価が下がっており、消費者としては、おいしいお米が安く買えるのはありがたい一方、生産者の現場を目の当たりにすると、生産者の努力に頭が下がります。これから新米の季節です。生産者が大切に育てたお米を、感謝の気持ちでいただきたいと思います。

(澤田)

AFCフォーラム 2022.10 秋1号

編集

前田 美幸 今村 潤 高雄 和彦
大谷 香織 澤田 真理 竹中 夕美

編集協力

青木 宏高 村田 泰夫

発行

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部

〒100-0004

東京都千代田区大手町1-9-4

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

Tel. 03(3270)2268

Fax. 03(3270)2350

E-mail anjoho@jfc.go.jp

ホームページ <https://www.jfc.go.jp/>

印刷

株式会社佐伯コミュニケーションズ

〒870-0847

大分県大分市広瀬町2-3-21